

## 服装に関するアンケート調査（令和5年12月～令和6年1月実施）

## ＜対象世帯区分と回答率＞

世帯区分	該当世帯数	回答数	回答率
未就学児のみ	93	67	72.0%
小学生のみ	68	53	77.9%
両方 <sup>※1</sup>	52	39	75.0%
合計	213	159	74.6%

※1未就学児、小学生ともにいる世帯

## ＜服装について＞

望ましいもの1つを、丸で囲み、選択した理由を記入してください。

\* 制服の場合、統合後においても統合前の制服を一定期間着用できるよう経過措置等を検討します。

\* 制服のデザイン等は、ジェンダー平等の観点を踏まえ、制服に決定した際に、あらためて協議することとしています。

## 全 体

	私服	制服	合計
回答数	66	93	159

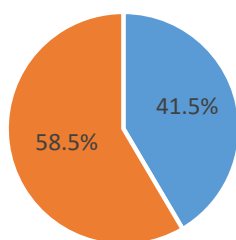
## 世帯状況別

	私服	制服	合計
未就学児のみ	22	45	67
小学生のみ	21	32	53
両方	23	16	39

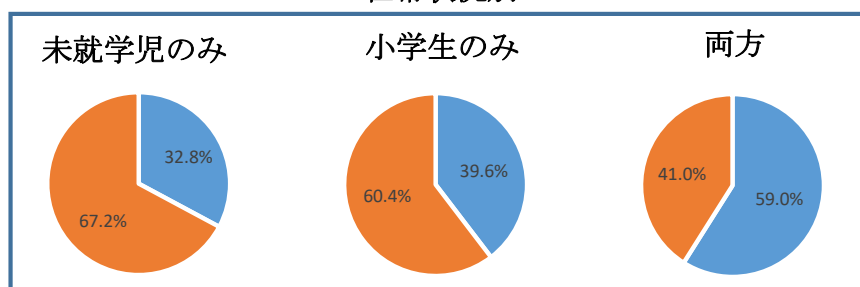
## ＜比率（全体、世帯状況別）＞

■ 私服 ■ 制服

## 全 体



## 世帯状況別



## ＜回答を選んだ理由（事務局による要約）＞

## 「私服」を選択

- ・ 制服は購入費用が高い。子供の成長に合わせて買い替える必要があり、経済的に負担。
- ・ 登校後、すぐに体操服に着替えているため、制服の必要性を感じない。登校から下校までに何度も着替えるのが手間。
- ・ ジェンダー平等の視点から私服がいい。
- ・ 汚れても洗濯しやすい。
- ・ 体調や気温に合わせて調整をしやすい。
- ・ 服を選ぶことで子供に自主性を持ってほしい。
- ・ 統合前の制服が使えないから。 など

## 「制服」を選択

- ・ 毎朝、服装に悩まなくていい。
- ・ 式典等での統一感がある。
- ・ 冠婚葬祭用の服を買う必要が出てくるため、最終的に私服の方が高くなる。
- ・ 日常生活と学校生活のメリハリをつけやすい。
- ・ 制服はリユースしやすい。
- ・ 服装によるいじめを避けることができる。
- ・ 学校生活に見合わない服装への懸念
- ・ 現在の学校が制服だから など